

令和3年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 神和認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～5歳児クラスでは、「子ども主体の保育」を課題としているが、本当に「子ども主体」になっているか、「子ども主体」と思っている担当が主体になっていないか、「子ども主体」とは言いながら観察ができておらず遊びが深まっていないことにはなっていないか等、悩みは尽きない。</li> <li>・ 0～2歳児クラスでは、一人ひとりを大切に丁寧な保育を小グループで行う担当制保育に取り組んでいる。担当の保育教諭全員が担当制をよく理解して共有できているか、クラスごとに保育に差がでていないかが懸念される。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (3～5歳児クラス) 子ども主体の保育を実践するために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「子ども観察」と「子ども理解」の力をつける</li> <li>・ 保育を楽しむ</li> </ul> </li> <li>○ (0～2歳児クラス) 一人ひとりを大切にする担当制保育を実践するために、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室の環境を考える</li> <li>・ 発達を理解して一人ひとりに丁寧にかかわる</li> </ul> </li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (3～5歳児クラス) 年長クラスは週1回のミーティングで、保育中に撮った写真を持ち寄って子どものことを語り合う。4歳児クラス3歳児クラスは月2回同じ内容のミーティングをする。</li> <li>・ (0～2歳児クラス) 月に2回にこにこ会議をして、発達に合った保育室の環境や担当制について考え、子どものことを語り合い共有する。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (3～5歳児クラス) 1枚の写真から子どもの様子について話し合うことで、子どもに対する考え方や声のかけ方、支援の方法が分かり、肯定的な子ども理解につながった。保育がとても楽しいという声があがっている。子どもの成長や課題を職員間で共通理解できた。</li> <li>・ (0～2歳児クラス) にこにこ会議で担当クラスだけでなく他のクラスの子どもの様子を共有でき、発達に合った環境構成を見直すことで、落ち着いて遊べる子が増えた。また、一人ひとりの目標を意識して保育するようになった。育児担当制を行い、一人ひとりに応答的に関わろうとすることで、子どもの情緒の安定につながった。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの理解をもとに、どのような環境や活動がふさわしいかを、園内で話し合いながら考えておられ、常に改善を目指して取り組まれている。子どもの個性や育ちについて、深く理解しようという姿勢も見られる。特に子どもの思いを受け止め、認めていくことで達成感を味わえるようにという事が全体で共有されており、豊かで主体的な活動に繋がっているといえる。</li> <li>・ 5歳児が自分たちの活動をドキュメンテーションとして表現し、保育者だけでなく子どもと一緒に振り返ったり伝えたりできるようになっている。</li> <li>・ 保育の内容を目指す理念とともに保護者に伝えようと努力されており、何をねらいとして活動がなされているかの理解が浸透しつつあり、今後もさらに深まると期待できる。</li> </ul>